

7 2018年

# wish times



『People of WISH』 pg 2~5

『WISH HOT EVENTS』 pg 6~8



SPECIAL CONTENTS

『突撃インタビュー！WISH生のテスト前の過ごし方に迫る！』 pg 9~11

フロア特集~女性フロア編~ pg 12~17

## WISHの寮内生活に迫る！



# wish times

## 寮生インタビュー(日本人寮生)

大学進学と共に初めて親元を離れる寮生がWISHに多くいる。不安や期待を胸に、さまざまな経歴を持つ寮生と触れ合い、成長していく。しかし、寮生活を過去に何年も経験したことのある猛者も数名WISHに住んでいるのも事実だ。今回は中学1年生から寮生活をしているR君にインタビューしてみた。

ー自己紹介をお願いします。

R:国際教養学部一年のRです。生まれは岐阜なんですけど、ずっと愛知の全寮制で男子校の中高一貫校にいました。

ーその寮とWISHには違いとかありましたか？

R:女子がいることですかね(笑)。あと、中高一貫というののもあってすごくルールが厳しく…スマホなどが禁止で、外出もほとんどできなくて。WISHは門限もなく自由で、しつこいなら、SIプログラムが縛りに近いかなって感じですね。他にもWISHはすごく国際的で、色々な人と英語とか使ったり留学生たちと日本語で会話したり…今のルームメイトも帰国子女の日本人、カナダ人、中国人で、とても国際的なんですけど、彼らの日本語能力の高さに驚いています。

ー異なる文化を持つ人たちとの共同生活はどうですか？

R:もちろんカルチャーショックとか驚きとかはありますね。例えばWISHの大浴場での話なんですけど、国籍によって体を洗う順番が違ったりとか(笑)。ただ、次第に寛容になっていきますね。帰国子女の方とか留学を経験したことのあるひとからするとあまり国際感を感じないらようですけど、僕みたいな人からすると、かなり国際的な感じがします。色々不思議なことがたくさんでした。

ーWISHに入っているいろいろと経験したと思いますが、自分の中で何か変わったこととかあってありますか？

R:だらけてしまったことですね(笑)。大学のスケジュールって、不規則ですし、WISHで友達と遊べたりするので…あと自炊とか、意外となんとかなりました。最初は死ぬんじゃないかと思いましたが、なんとかなります。前の寮では食事の時間が決まっていた、それを食堂とかで食べていたんですけど、ここでは自炊。

ー寮生活を中学1年生から続けていますが、上京と共に寮に初めて入る人たちにアドバイスはありますか？

R:人を頼る事ですね。中学3年生の時から寮の後輩の面倒を見る仕事をしていたんですが、やっぱり後輩から声を掛けてもらえないと難しいですね。いくら先輩やRAが積極的に声をかけても、人数が多いですし、たとえ迷惑に思われるかなと思っても積極的に先輩や相談役の人に話をした方がいいです。かならず答えてくれるので。

ー初めて子供を寮に送る親や保護者に対しては？

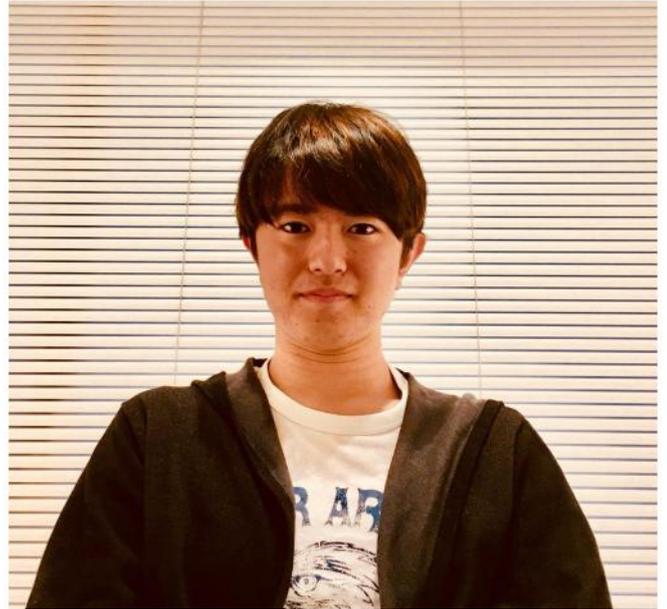
R:基本的に、「子供の親離れ」より「親の子離れ」の方が大変かもしれないです(笑)。僕の親も最初の頃は泣いていたらしいです。ただ、子供は成長します。親元を離れるからこそ経験できることも多くありますし、成長も大きいです。しんどいですが、絶対子供は成長するので寮に送ってあげてください。前の寮では過保護な親が干渉とかしていたのですが、いい方向に転んだことはなかったと思います。もちろん、子供の命に関わる事なら別ですが、それ以外は、子供や寮に一任したほうが子の成長にもなりますし、親の成長にもつながると思います。

ー僕の親も最初は心配だったらしいです(笑)。これから早稲田大学への進学、そしてWISHに入寮しようとしている人たちに向けて何かメッセージはありますか？

R:面白おかしく言うなら、WISHのお洗濯は大変ですね。乾燥機の性能があまりよくない！ちょっと臭いし、洗濯物が乾かないことがあるので、余計にお金がかかります(笑)。真面目にいうと、食事付きだからこの寮がいいとか、この値段だからここがいい、という考え方はやめた方がいいですね。結局は個人個人の活かし方次第なので。まだできて4年の新しい寮なので、これからの伝統を作るのも僕らだし、次入寮してくる人たちでもあると思うので、今後は楽しみですね(笑)。

ーありがとうございます！

R:最後に良いこと言ったなあ(笑)



寮生インタビュー (Third Culture Kids寮生)

Tomotatsu Kono -408 SILS Junieur-

一育ちやこれまでの暮らしを教えてください！

お母さんが日本人、お父さんが台湾人で、生まれは台湾です。20歳までの間は1年のうち夏の1ヵ月ほどだけ日本で過ごし、残りはずっと台湾で過ごしていました。言語は、おばあちゃんが10歳のころまで台湾が日本領だったから、家庭内はおばあちゃん、お母さん、妹とは日本語で、お父さんや近所とは中国語で話をしていました。学校はすべて台湾の現地校に通っていました。高校時代は中国語が苦手なため、転校したため、1年生を2回を経験しています。高校卒業後は台北の国立台湾師範大学の東アジア学部の政治経済学科に1年在籍していました。



一大学について教えてください！

もともと日本の大学に進学する予定で、台湾の大学には半年ほどしか在籍しない予定でした。国立台湾師範大学でも寮生活をしていて、その寮は6人1部屋という生活でした。寮生の国籍もさまざま、築60年くらいの建物だったので、家賃がなんと月5,000円でした(笑)



①国立台湾師範大学の寮の写真

一ご自身の言語について、悩みや良さなどはありますか？

周りから見ると、英語含め3カ国語をしゃべれているように見えますが、どの言語もネイティブではないため自分の中では常に言語について困っています。ただ、台湾と日本に入るときは入国審査はすごく楽ですね(笑) また、3カ国語使えることで情報収集や情報発信の量が多くなることもとてもいいです。自分にしかできない通訳やバイトなども多いです。仕事でも日本人、台湾人、中国人がいるチームに入っても比較的難なく適応できます。

一台湾と日本、どちらがホームなんでしょう？

日本も台湾もどちらも国内感覚です。朝7時に台北を出れば11時に羽田に着くため午後の早稲田の授業に出ることもできます(笑) 週末に台湾に帰って家族や友達に会って、日本に戻ってくることもあります。台湾と東京の行き来は、他の人が東京と大阪を行き来するような感覚かもしれません。また、日本にいるときにマンゴーや小籠包が無性に食べたくなったり、の便利さやお寿司などが恋しくなったりもするので・・・日本と台湾どちらに対しても”帰る”という表現を、家族で子供の時から使っています！

一将来について教えてください！

来年の秋から1年間留学に行きます。留学先をヨーロッパしか出願しませんでした。これまで旅行に行った国はアジアが多く、だいたい中国語が通じる国が多かったです。また北米も中国語が通じやすい場合が多いです。自分がヨーロッパに行きたい理由は、ヨーロッパで完全に自分がアウェーの世界に入っていき人生初の経験をしてみたいと思ったからです。留学は楽しみです！ 北欧のライフペースがゆったりとした国に行くので、のんびり自分が勉強したい事を探して、現地人らしく過ごしてみたいです。自分が北欧の暮らしに適応していくのが楽しみ。自分の知らない世界を、まだまだ探求していきたいですね。



②国立台湾師範大学時代の友達と

## ちょっと一息

特集：WISH生の憧れ!?! ファミリーマート職員さんのチワリさんインタビュー



WISHを出て左に向いて、その角の奥にはファミリーマート（ファミマ、略）というコンビニがあります。WISH生はよくそのコンビニに行きます。このコンビニには、チワリさんという全寮生が憧れている(!?)店員さんがいます。チワリさんにWISH寮生のコンビニでの購入行動についてインタビューをさせていただきました。

Q. チワリさんって誰!?

WISH寮生でチワリさんのことを知らない人はいないだろう。チワリさんはネパール出身で、WISHがオープンした1年後の2015年から、WISHのファミマで働き始めている。よく夜間の勤務をしていたため、寮生と親しくなり、いまではほとんどのWISH生はチワリさんを知っていて、とても憧れている(!?)チワリさんがいない日も寮生はすぐに気付く。チワリさんが働いていない日に、寮生が「彼はどこにいますか」と他人の店員に尋ねてしまうこともあるとかないとか。WISH寮生の中にはチワリさんと会う度に彼との会話を楽しんでいるのだとか。

Q. 寮生のファミマでの行動：

WISH生の好物はファミチキだとわかった。ファミチキは1年中人気があるそうで、特に中国人の留学生と非常に人気があるようだ。1度に2～3個を買う寮生がいるらしい。そして、テスト期間でなければ、寮生は17:00から23:00によくファミマに行くが、テスト期間になると、その時間は1:00から3:00になる。普段は炭酸飲料がすごく人気があるけれど、テスト期間になるとジュースの方が人気になるようだ。

ちなみに、チワリさんはファミマの牛乳にはまっている！

## イベント

### 流しそうめん、開催!

6月10日、竹の用意された2階の多目的教室に複数の寮生が集まった。何も知らない部外者にはこの光景が極めて奇妙なものに映ただろう。だが、寮生たちはそこで何が行われるのかを知っていた…。そう、竹に流れるそうめんをとらえる日本の夏の風物詩「流しそうめん」である!

イベントの参加者は留学生が多く、彼らにとってこの企画は驚きに満ちた経験となった。流しそうめんに参加した寮生たちは準備をしてくれたRAさんたちに感謝しつつ、楽しいときを過ごした。参加者の一人は「おはしを使うだけでなく、相手と麺をかけた攻防もしなければならず大変だったが、そこがとても面白かった!」と興奮した様子で語ってくれた。笑いながら白熱したそうめんの取り合う寮生の様子からはこのイベントの成功がうかがえた。また、流しそうめんの他にもかき氷がふるまわれたり、RAさんの考えたレクリエーションが行われたりした。このイベントは確実に寮生たちにとって幸先の良い夏のはじまりとなっただろう。



## 世界の朝ごはんツアー：インド



今年の3月、RAたちは「世界の朝ごはんツアー」という様々な文化の朝食が味わえる企画を提案した。このイベントは国際性豊かなWISHの環境を活かして、寮生たちに新たな料理の世界と文化を発見してもらうことを目的としたものである。3月の終わりには1回目の企画で台湾の料理が発表され、今回6月2日に行われた2回目ではインドの料理が発表された。まず、料理を堪能する前に参加者たちは、インドから来た2人の留学生にインドの食文化とその日ふるまわれる料理の説明を受けた。2人はパニール、ドーサ、ラスマライ、ジャレビ、ラドゥ、シーラなどのインド文化特有の料理を紹介してくれた。また、発表後にはイベントサポーターたちがひよこ豆のカレーとチャパティーの作り方を寮生に実演した。どちらの料理も大変おいしく、両方を一緒に食べたときはよりおいしく味わうことができる。なんと、作りたいという人のために今回作ったひよこ豆のカレーのレシピが下に載せてある！手順もとても簡単なので時間があればぜひ作っていただきたい。ただし、ひよこ豆のカレーはコリアンダーを使用するため、少し辛いので作る場合は注意が必要だ。今回の朝ごはんツアーは、寮生たちのインド料理に対する興味を深めた。次の国も、きっと寮生たちのさらなる興味と好奇心を掻き立ててくれるだろう。

### ひよこ豆のカレー

#### 材料：

- ひよこ豆
- トマト
- 玉ねぎ
- 生姜とニンニクのチューブ
- コリアンダー粉
- ガラムマサラ
- 塩と胡椒

#### 作り方：

1. フライパンに油を熱し、生姜とニンニクのペーストを加える。ほんのり茶色くなるまで炒める。
2. 切った玉ねぎを加えて、飴色になるまで炒める。
3. トマトとひよこ豆を加える。
4. 数分間混ぜたあとにガラムマサラとコリアンダー粉を加える。
5. 最後に塩コショウで味付けをして完成。





# WISH スポーツ大会

6月24日(日)、早稲田大学所沢キャンパスの体育館にて、スポーツ大会が開催されました。フロアごとに、イエロー、マゼンタ、ブルー、グリーンの4チームに分かれ、合計73人が熱い大会を繰り広げました。

## ① 大縄跳び

制限時間内に跳べた数の合計を競います。苦手な人が跳べた瞬間、チーム一丸となって喜び合う温かい雰囲気は、WISHならではの。

## ② 障害物リレー

1. 網くぐり↓きなこ棒探し  
2. 風船ペア割り  
3. ぐるぐるのバット↓パン食い競走  
顔を真っ白にしながら、果敢にきなこ棒を探す姿は、爆笑必至。チームメイトのために体を張りました。



## ③ バスケットボール

どのチームも、初めてとは思えないほど連携がしっかりとれていて、見応えのある試合となりました。



お昼は、所沢の雄大な自然に囲まれながらの食事。チームメイトと親睦を深めました。

## ④ ドッジボール (フロア対戦)

フロアの誇りをかけて、柔かいボールでほのぼのと対戦を楽しみました。

## ⑤ スウエーデンリレー

アクシデントがあったにも関わらず、最後まで諦めずに走った選手に拍手！

大接戦の中、優勝したのはイエローチームでした。去年まで、ブルーチームが3回、グリーンチームが1回優勝となり、今回イエローチームは初の優勝となりました。



## イエロー団長の言葉

最初の大縄跳びが最下位でどうなることかと思っただけ(笑)、とりあえず優勝できてほんとに嬉しい！あの一日でたくさん笑ったし、たくさんの人と仲良くなれました。やっぱりWISH最高〜！

## 社説

普段関わりのない、違うフロアや学部の人と、スポーツを通して関わることは非常に楽しいです。思いがけない共通点や知らなかったことを学んだ人も多はず！良い汗かきましたね。大学生になって色ごとに分かれて、必死に競技するなんて思ってもみませんでした。早稲田大学には、秋に行われる体育祭もあるようなので、皆さんぜひ様々な形でスポーツや人と関わってくださいね。



## SPECIAL CONTENTS

### 「突撃インタビュー! WISH生のテスト前の 過ごし方に迫る!」

6月は1年生にとって初めての中間テスト期間となる。そこで、今年WISHに入寮した1年生たちがテスト前どんな過ごし方をしていたのか調査し、発信することで参考になればよいと考える。

1人目

N.Hさん

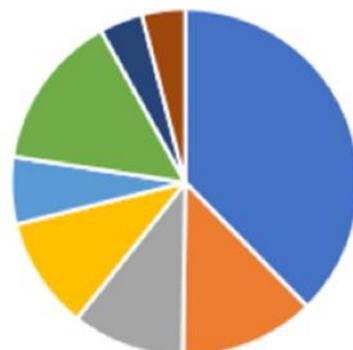
文化構想学部1年(WISH 8F)

中間テスト科目:英語、ドイツ語

#### テスト状況詳細:

- ①テストは1限にある
- ②先生の授業進度が遅いためテスト範囲は狭め
- ③サークル(パフォーマンスサークル)の講演前の期間だったため忙しい→セクション一つ分はノー勉で臨む
- ・テスト前の面白い習慣:①部屋の掃除や料理に対するモチベーションが上がる→実際にやる→テスト勉強時間がなくなる
- ②しかし徹夜はしない派 → 潔く諦めて朝を迎える
- ・テストにまつわるおもしろエピソード:高校の模試の最中に突然鼻血が出てきたが、試験監督が寝ていたためそのままやり過ごした。(本人いわくめっちゃめっちゃ焦ったとのこと) ⇒鼻血が出てきてから解いた問題が全て満点だった...!
- ・眠気覚ましのお供:コーヒー/大音量の音楽  
→それでムリなら寝る。

テスト前日のスケジュール



■睡眠 ■家事 ■講義 ■自習(図書館) ■サークル自主練 ■サークル正規練 ■帰宅 ■就寝準備

## 二人目

E.Hさん

国際教養学部1年(WISH11F)

テスト科目:ライティング、マーケティング、哲学、ポップカルチャー、統計

レポート科目: American Politics(通称アメポリ)、North Korea



## 授業や中間の状況について教えてもらえますか?また初めての中間テスト、どうでしたか?

課題が出てからずっと放置してて、1週間前からちゃんと読み始めたら大変なことになりました。だんだんと、リビングに住み始めるように…。2、3週間くらい、友達と一緒にリビングで寝てました…。ちなみに今も三日連続オールです・笑。

だいたい6時ぐらいに起きてシャワーを浴びてご飯食べて、もう一回勉強始めて午後から学校行ってサークルも行って、帰ってきて2時間くらいダラダラして、11時か12時くらいからまた勉強を活動始めて…っていう生活をしていました。

マーケティングのテスト勉強の時は、英語ではよく分からないから、まず日本語の本を読んで、おおよそ理解してから英語の教科書を読むようにしていました。レポートなども最初から英語の記事を読むのではなくて、日本語の記事から調べてました。

アメポリ(American politics)は面白いって言われてるけど、正直、純ジャパの私にはその面白さが分からないです涙。中間ではドラフトの中からテーマを一つ選んで論文にします。

## テスト期間中のエネルギーチャージは??

モンスターは、夜な夜なコンビニ行ってよく飲んでました。もう効かないですけど…笑。あと、ローソンのメガカフェオレを毎日飲んでエネルギーチャージしてました。

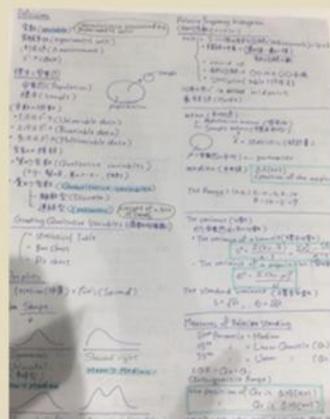
ただ、今は眠気にあらがわないことを大事にしています。

## 初めての中間テストどうでしたか?

寝る時間が減ってきつかったけど、友達と勉強して、お互いに朝起こし合ったりしたから、とりあえず寝過ぎは回避できました。お隣のラクロス部に入っている友達が朝早いので、その子に起こしてもらったりしてました。テストが一通り終わって、早いうちからちゃんとやればよかったと後悔してます。ガチで反省してます。次は絶対早めに取り掛かろうと思います…。

(統計のテスト勉強ノート。)

単語帳みたいに独自の問題集を作っていました)



### 三人目

F.O君

先進理工学電気・情報生命工学科1年



今回は中間テスト期間ということで、中間テストをどうやって乗り越えたのかWISH生に聞いてみました!!

今回インタビューしたのは先進理工学電気・情報生命工学科F.Oくんでーす!

理系ということでテストがやばめだと予想される。

テストは筆記とプログラミングのテスト、語学と計6つ。インタビュー時ではまだ終わってないらしい様子でした。

そのまだ受けてないテストが鬼、だそう。科目は英語だが、日々の単語テストはクロスワード方式という謎さ、何が待っているかドキドキらしい。

Fはいつも深夜キッチンでシコシコ勉強をしているイメージ。本人いわく朝は弱いそう。

そんな彼のテスト前の一日を紹介しよう。

まず、ぎりぎりまで寝る、コーヒーにバターを入れて飲み、そしてセントラルパークを食パンくわえて走る。18時に帰宅し、愛読書である「ヘッドストロング」という怪しげな本に乗っている、頭・体に良い料理を作り食う。そして徹夜、そして寝坊。

彼の勉強法はとにかく眠くなるので、キッチンで中国雑技団のBGMみたいな音楽をかけて勉強する。

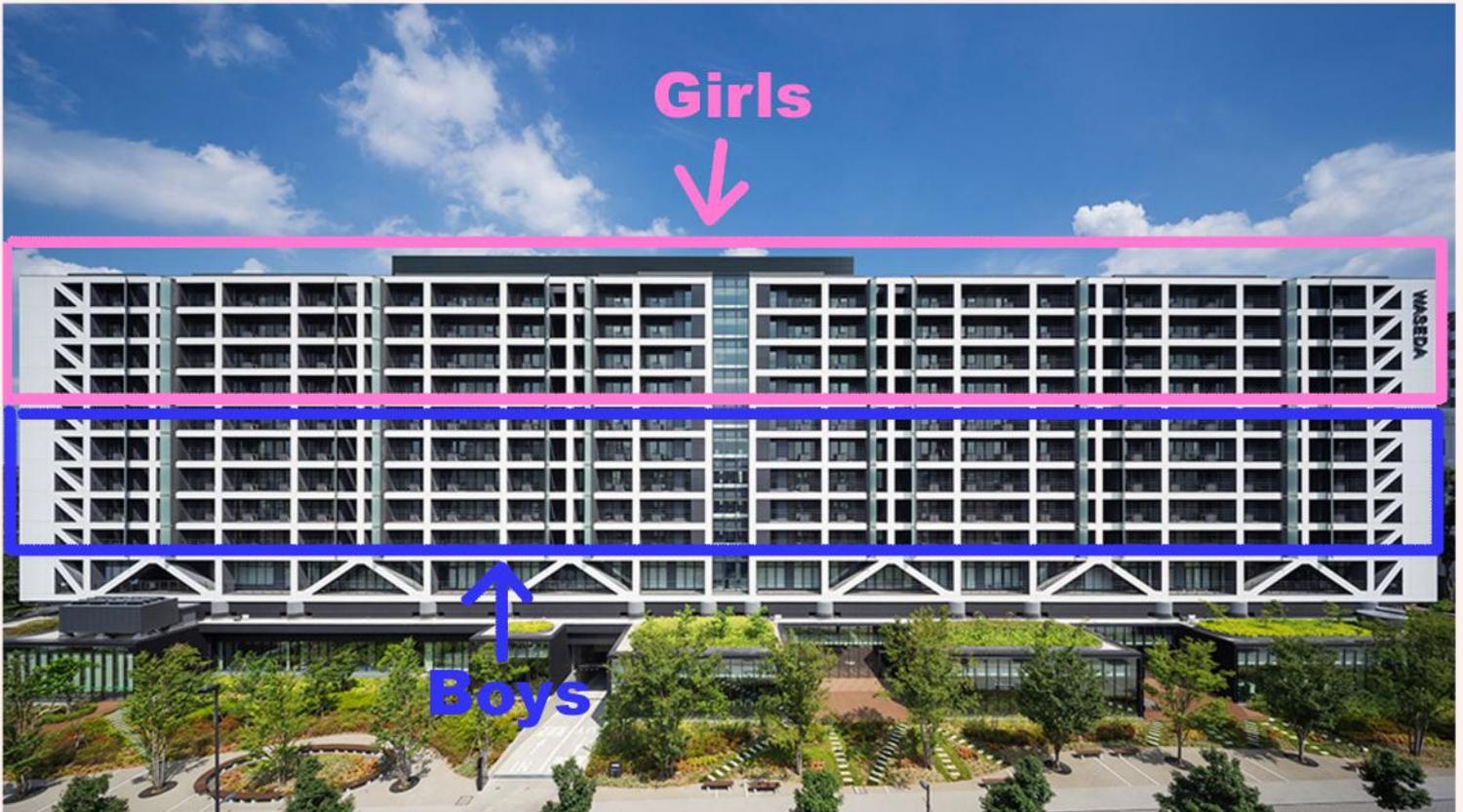
彼は優しい男でテスト前にも関わらず、友人のパワポづくりを手伝い、自身の勉強もせずテストに臨んだほどである。が、点数はそこそこ取れたらしい。

以上テストをどうやって乗り終えたか、フミアキ編でした!!理系なのでいつも大変そうな彼ですが、可愛い彼女ができそうな予感がバンバンしてます。一生懸命で、かわいらしい顔をしているので、きっと最終的にはイケルと思います。



## フロア特集 ～女性フロア編～

11階 建てのWISHの居住フロアには、それぞれ 約90人 の早稲田大生が暮らしている。そして各フロアにはRAという 4名 の寮生がおり、自分たちの担当している階の学生たちの生活をサポートしている。この企画はそれぞれの階の特徴とその階の住人を見守るRAさんの方針を取り上げることによって、WISHの多様性を知ってもらう企画である。



### 今月の案内人



11階



9階



10階



8階

## 11階：最高峰の眺めと清潔度を誇るフロア

RAさんに聞く！11階の特徴と環境作りのこだわり。

「快適な空間づくりを目指しています。」というRAさん。11階ではキッチンをきれいに保つために、ルールをきちんと設けているそう。例えば、このフロアでは炊飯器をキッチンに放置することが禁止されている。また、今年からは自分の炊飯器にシールを貼ることを促すことでさらなる徹底した私物の管理を呼び掛けているのだという。

「キッチンが汚いと、実はそれにストレスを抱えてしまう住人たちは結構いるんです。」と話すRAさん。「なので、共有スペースを清潔に保つことでみんなが快く日常生活を送れるようにしたいんです。」また、清潔で居心地が良いので、キッチンは普段はみんながよく集まってテレビをみたり、コミュニケーションをとったりする憩いの場となっている。

そのおかげか、11階の人たちは学年の壁を越えてみんな仲が良いそう。

11階で設けられているルールは決して住人達に対する制限ではなく、みんなで心地良く過ごせるようにという工夫なのだ

見よ、  
これが  
11階のキッチンだ…。



RAさんも推している11階のキッチンがこちら。

従来の寮の小汚いキッチンのイメージを払拭する、美しく整えられたキッチンである。

今回、各フロアにアンケートを流した結果、清潔度で住人たちから一番高い評価を得たのがこの11階だ。

さらにアンケートでは「キッチンがきれい！」というコメントが多数寄せられている。

あまりに美しいので、寮にお偉いさんが見学するときにはたびたびこの11階に案内されるのだ。

しかし、11階のキッチンの素晴らしさはここだけにとどまらない。

なんと、最上階なので景色がとてつもない良いのだ。

午後6時あたりになると、キッチンは夕焼けに染まる中野を一望できる

なんとも贅沢な空間へと変身するのだ。

この景色を見ると、傘を忘れてもすぐにとりに帰れない不便さも報われる気がする。

11階の美しいキッチンはまさにRAさんと住人たちの努力と苦勞の賜物といえよう。



## 10階：自然体でいられる自由なフロア

RAさんに聞く！10階の特徴と環境づくりのこだわり。

「**基本的に放任主義です！**」といきなり問題発言をする10階RAさん。

でも、その方針は彼女のフロアの人々に対する信頼の証である。

10階では特に厳しいルールを設けていないらしい。

それは寮生たちがお互い何か不満に感じたときにその問題点を自身の中にため込むのではなくグループラインで共有するからである。また、不満を打ち明けたからといってけんかになることはなく、みんなが落ち着いて改善を試みるそうだ。

これは10階の住人たちが全体的に穏やかであり、器の大きい人が多いからこそなせる業なのだ。

加えて10階の人たちは特定の人とだけつるむのではなく、幅広い人間関係を築く傾向があるそうだ。

「人付き合いや問題への対応からも分かるんですけど、10階は大人な人が多いんだと思います。」

と語るRAさん。

「だから、フロアのみんが安心して自然体でいられるんです。」

住人たちが大人、だからこそ成り立つ10階ならではの自由なスタイルなのである。



### 自由な階風から生まれる

### クリエイティブな発想

10階に降り立った瞬間そこは発想力あふれた空間が広がっていた。

まず、エレベーターから出て目の前に飛び込むのがハート型に縁どられた付箋だ。そのひとつひとつを詳しく見ていくとそこには「Thank you!」というメッセージたちが連ねられている。

このメッセージは10階で開られているフリーマーケットで物の受け渡しが成立した時や新入生が先輩にお世話になったときに感謝を伝えるためにあるらしい。さらに進むと廊下には色紙でできたちょうちんが天井からぶら下げられている。これらは10階の次期RAを選抜する際に、RA候補の人が10階を飾り付けるという企画を行ったからだそうだ。また、キッチンにもフロアイベントの写真を並べたボードがおいてあり、フロア全体が鮮やかに飾られている。

この自由なフロアの階風が住人達の創造力を存分に発揮できるようにしているのかもしれない。



## 9階 ユニットの絆とおしゃれを極めるフロア

RAさんに聞く！9階の特徴と環境づくりのこだわり。

「同じユニットの人たちの仲を積極的に深めることを意識しています。」

と語るRAさん。

WISHではそれぞれの住人を4人1組のユニットに配属し、

その住人たちで一つのリビングと洗面所を共有する。

このユニットの組み合わせはさまざま

学年や国籍に関係なく住む人が決まるため、

入居者には多様な人たちと交流する機会

が与えられるのだ。

9階ではユニット内のさらなる親睦のために、

ユニットルームセッションという定期的に行われる

ユニットの会議に階のRAが4人全員でおもむいているのだという。

その際にRAさんたちはラインの連絡先を交換しあうように促したりなどして

ユニットの住人同士が仲良くなれるように架け橋のような役割を担っているらしい。

これらはRAさんの「先輩と後輩が仲良くなれる機会をどんどん作っていきたい。」という思いがあつてのことだそう。

こういう取り組みの成果もあつて9階ではユニット内での絆が深く、よくパーティーなどを催されている。

WISHの多様性を最大限に味わう機会を積極的に作る9階の環境づくりであった。



### 「女子力」のかたまり

また、9階は非常に「女子力」

が高いといわれている。

これは9階の住人は自炊をしている

人が多いからである。

加えてお菓子作りをしている人もおり

クッキーを焼いたりもしているそう。

さらに、9階では各ユニットや部屋の

内装がとてもオシャレで工夫が

施されているのだという。

右の写真をご覧ください。

これはあるユニットで

クリスマスパーティーを開いたときの

ものらしい。共有リビング全体にはムードのある電飾が施されており、住人のセンスの高さがうかがえる。

ハート型の色とりどりの風船を持って写真を撮るあたりにも、彼女たちの限りない「女子力」を感じる。

そして、何よりもパーティーを楽しんでいるのが分かり、とても微笑ましいと同時にユニット内の絆をうかがえる一枚だ。

ちなみにドアもとても可愛らしくアレンジされており、部屋の隅々までに彼女たちのセンスの良さが光っている。



## 8階：安らぎと安心感を与えるフロア

RAさんに聞く！8階の特徴と環境づくりのこだわり。

「アットホームなフロアを目指しています。」というRAさん。

みんなが心から安らげる空間を作ることが彼女の目標らしい。

そのために、入ったばかりの寮生に手紙を送ったり、

オリジナルのポロシャツを作ったりなどと住人たちが寮に

いち早くなじめるように心がけている。

また、8階は楽器をしている人が多く、

フロアミーティングの前に音楽のイベントを開催したりしている。

「8階は個性的な人が多く、音楽、サークル、インターンやバイト様々なことに挑戦しています。」と語るRAさん。

「なので、彼女たちがその個性を表現できる場所を作るようにしています。」

このようにひとりひとりが自分の個性や趣味を披露する場を設けることによって、

よりフロアの住人が打ち解けやすい環境を作っているのだ。

さらに8階では留学生と日本人の交流も盛んに行われており、

お互いから言語を学ぼうとする様子もよく見られるらしい。

まさに8階はそれぞれの個性を尊重し、

自分の居場所を感じることでできるフロアなのだ。



### 食を通しての交流

8階ではよく食を通じたイベントが行われる。これは文字通り「同じ釜の飯を食う」ことによって人々の交流を促進できるという考えからである。料理を共に作りそして食べることによって、8階の人々は住人同士の仲を深めてきたのだ。イベントでは各国の食事、例えば豚肉を使った韓国料理などをふるまったり、ピザパーティーを開いたりしているらしい。また、6階の人たちとチーズフォンデュをするなど、違う階との合同企画も催されており、

たくさんの人との出会いの機会も提供している。さらにこうした食のイベントの前には体を動かすためにレクリエーションも用意されており、よりおいしく料理を堪能できるコースとなっている。こういったイベントのおかげか8階の寮生はイベントが好きで参加率も高いらしい。食を通して、人々との絆を深めることができる、まさしく一石二鳥の8階の楽しいイベントであった。

# wish times

いかかだろうか？

むろんこの企画は各階の特徴すべてを正確にとらえているわけではないが、

この記事を通して少しでもWISHの多様性と女子フロアの雰囲気を感じていただければと思う。

また、今回の企画を通して

「どの階でも住人が住みやすいようにRAさんによって様々な工夫が施されている」ことが分かった。

それぞれの階には、別の形であれど寮生が快く過ごせるようにというRAさんの気遣いがあるのだ。



次回：**男性フロア**特集！ お楽しみに！

